

【資料４】 登録有形文化財（建造物）の登録について

１、現在の登録有形文化財（建造物）の登録状況

	名称	所在地	登録日	員数
1	吉村家住宅	鳥取市立川町	平成10年7月23日	6
2	杣小屋拱堰堤	鳥取市河原町杣小屋	平成16年11月29日	1
3	加藤家住宅	鳥取市倭文491	平成18年8月24日	1
4	高砂屋(城下町とっとり交流館)他5棟	鳥取市元大工町1	平成19年8月13日	6
5	常忍寺本堂	鳥取市行徳3-977	平成19年5月7日	1
6	桜寛苑(旧金田家住宅)主屋・土蔵	鳥取市東町2-301	平成20年7月23日	2
7	大井家住宅主屋	鳥取市気高町上光字扇子間392-1	平成21年7月23日	1
8	五臓圓ビル	鳥取市二階町2-207	平成22年2月8日	1
9	鳥取民藝美術館	鳥取市栄町651	平成24年8月13日	1
10	有隣荘	鳥取市国安	平成25年3月29日	9
11	興禅寺本堂	鳥取市栗谷町	平成25年12月24日	1
12	岩田家住宅主屋、離れ、茶室	鳥取市立川町	告示待ち	3

- ・総数 12件（33棟）（うち1件・3棟は官報告示待ち）
- ・申請中のもの 2件（摩尼寺本堂、立川稲荷社）

２、平成25年度に答申された建造物

① 興禅寺本堂

登録基準 : 国土の歴史的景観に寄与しているもの

所在地 : 鳥取市栗谷町10

建築年代 : 文化11年（1814）・明治大正期増築

※興禅寺はもと鳥取藩主池田家菩提寺の黄檗宗寺院で、現在の本堂は御霊屋を本堂に転用したもの。複雑な屋根構造をもち、最奥部の折上格子天井に花鳥などを描く華やかな意匠をもつ。



本堂外観写真

② 岩田家住宅 主屋、茶室、離れ

登録基準 : 国土の歴史的景観に寄与しているもの

所在地 : 鳥取市立川町

建築年代 : 主屋：江戸末期建築/明治中期改修

茶室：明治33年建築

離れ：大正6年建築

※かつては油商を営んだと伝わる商家で、主屋は江戸時代末期に建築され、明治中期に正面を塗り込めるなど防火対策がとられたと考えられる。一階正面を出格子、二階には虫窓を穿つ。当初は北側に土間をとる2列6部屋であった。

※茶室は主屋の南東隅に接続し、庭に面する側を開放的な構成とする。

※茶室の東に建つ離れは、六畳の主室を庭に向け、茶室とともに開放的なつくりである。

※鳥取市街地に残る、数少ない江戸期の町家として貴重である。



主屋外観写真